

資料3

ちば男女共同参画基本計画 第4次ハーモニープラン
重点施策「LGBT（性的少数者）への理解促進と支援」について

平成28年度よりスタートした「ちば男女共同参画基本計画 第4次ハーモニープラン（以下「新計画」という。）」においては、「LGBT（性的少数者）への理解促進と支援」を重点施策の一つと位置付け、さまざまな事業を展開していきます。

1 新計画に掲載している指標・具体的事業

新計画では、「LGBT（性的少数者）への理解促進と支援」に関連した指標として、2つの指標を掲げました。

指標目標とした「LGBT（性的少数者）に関して社会的な意識が高まっていると思う人の割合」、「学校や職場内の人々が、LGBT（性的少数者）だった場合、これまでと変わりなく接することができると思う人の割合」の2指標については、平成33年度の目標達成に向け、WEBアンケートを継続実施、市民の意見・意識を広く調査し、周知・啓発活動を行っていきます。

基本目標	指標項目	現状値	最終目標
		(調査時期) (数値)	(達成時期) (目標数値)
V 生涯にわたる心身の健康と性・LGBTに関する理解への支援	LGBT（性的少数者）に関して社会的な意識が高まっていると思う人の割合	平成27年度	平成33年度
		74.0%	90.0%
	学校や職場内の人々が、LGBT（性的少数者）だった場合、これまでと変わりなく接することができると思う人の割合	平成27年度	平成33年度
		60.7%	85.0%

また、個別に取り組んでいく具体的事業として以下の4つの事業を掲載しています。

事業No.	事業名	事業内容	所管課
52101	LGBT(性的少数者)の理解促進 〔新規〕	LGBT理解促進のため、男女共同参画センターなどで講座を開催する。	男女共同参画課
52102	学校におけるLGBT(性的少数者)の理解促進 〔新規〕	学校現場においてより適切な支援を実施するため、管理職を中心として教職員向けにLGBT理解促進のための研修を実施する。	指導課
52103	LGBT(性的少数者)相談窓口の充実 〔新規〕〔基本目標V-1-②の再掲〕	LGBT(性的少数者)専門相談窓口を設置し、運営する。	男女共同参画課
52104	公的証明書における性別欄の廃止 〔新規〕	公的証明書類における性別記載の廃止や記載の有無を選択できるよう取り組む。	男女共同参画課

2 新計画における平成28年度具体的事業の取組み

具体的事業の今年度の取組みは以下のとおりです。

事業No.	事業名	事業実施内容
52101	LGBT(性的少数者)の理解促進 〔新規〕	男女共同参画センターにおいて、男女共同参画講座Ⅰ「学校で、仕事で、地域で～LGBTを受けとめるには」を10月8日・15日・22日に実施(全3回) 参加者延べ57人 庁内のLGBT理解促進のための研修を実施(29年1月予定)
52102	学校におけるLGBT(性的少数者)の理解促進 〔新規〕	「管理職特別研修会(人権教育)」を7月25日に実施 参加者は小・中・特別支援学校校長・教頭169名 「人権教育担当者研究協議会」を6月10日に実施 参加者は小・中・特別支援学校人権教育担当者169名 文部科学省からの通知文を配付
52103	LGBT(性的少数者)相談窓口の充実 〔新規〕〔基本目標V-1-②の再掲〕	男女共同参画センターでのLGBT専門相談窓口の設置を検討
52104	公的証明書における性別欄の廃止 〔新規〕	公的証明書類78種について、各所管課に対して、性別欄の廃止あるいは裏面記載等の対応を求めた。 平成27年度末時点での対応状況調査結果では、対応可能なものはすべて対応済み、対応未済が4種(※)である。 対応未済のものについては、システム改修時期や用紙印刷時期とあわせて対応する予定。 (法令等の規定により、性別欄を記載せざるを得ないものは除く)

※『事業No.52104 公的証明書における性別欄の廃止』の対応未済4種は「印鑑登録証明書」、「埋火葬許可証明書(埋火葬許可発行済証明書)」、「学区外通学承認通知書」、「区域外就学承認通知書」。
なお、「印鑑登録証明書」については、平成28年9月に、条例改正が議決され、性別欄の廃止が決定しました。

3 新計画掲載外その他の取組み

○千葉市議会では、平成28年第1回定例会(3月)において、性的少数者が、学校や職場などの生活の各場面で差別的取り扱いを受けないようにするよう、国において措置を定めるとともに、性的少数者が存在することも踏まえた社会制度づくりが進められるよう、共生社会の実現に向けた新たな法整備も講ずる必要があるとして、国に対し、性的少数者に対する差別の解消を強く求める「性的少数者に対する差別の解消を求める意見書」を提出しました。

○2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、ロンドン視察を行い、LGBTに関する理解促進のための取組みや環境整備、配慮について、関係団体と意見交換しました。東京オリンピック・パラリンピックの競技会場都市として、多様性を尊重し、共生社会を実現するため、視察で得られた成果を活かしていきます。

